

## ⑦化学消防ポンプ自動車の更新

- ▶平成27年度事業費 5,363万4,000円
- ▶問い合わせ 消防本部総務グループ (☎09611)

化学消防ポンプ自動車は、一般の火災はもとより、水をかけると逆に火の勢いが増してしまう油脂や化学物質の火災の消火に活躍する消防車です。

市消防署に配置している化学消防ポンプ自動車が老朽化していることから、これを更新します。更新することで、危険物施設や車両などの火災に迅速に対応でき、消防体制の充実を図ることができます。

▶更新予定時期 3月末

## ⑥きずな安心キットの配付

- ▶平成27年度事業費 100万円
- ▶問い合わせ 社会福祉グループ (☎091911)

登別市社会福祉協議会が主体となって実施している『小地域ネットワーク活動』は、市や町内会、民生委員児童委員などが連携し、高齢や障がいによって支援が必要な方への見守りや声掛けなどを行う『誰もが安心して暮らすための、住民同士の支え合い・助け合い活動』です。

この事業の取り組みをさらに広げるため、平成27年7月からリニューアルし、支援が必要な方のもしもに備え、『小地域ネットワーク活動推進事業』に参加している町内会を通じて、『きずな安心キット』と『き

ずなづくり台帳』の整備や配付を行いました。

『きずな安心キット』は、『きずなづくり台帳』に緊急時の連絡先、かかりつけの医師名などの情報を記入し、筒状の専用容器に入れ、自宅の冷蔵庫などに保管しておくことで、救急時に備えることができます。

また、専用のステッカーを玄関の内側と『きずな安心キット』の保管場所に貼ることにより、異変に気付いた方が『きずな安心キット』を容易に探すことができ、迅速な救急活動につなげることができます。

▶平成27年度実績

・『きずな安心キット』配付数：1,767個（平成27年12月末現在）

▶今回、配付した『きずな安心キット』



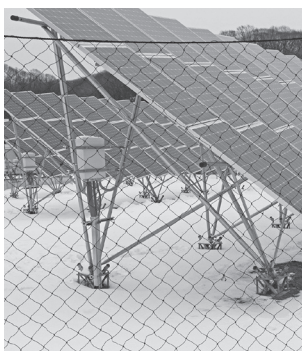
## ⑨再生可能エネルギーを活用した防災対策

- ▶平成27年度事業費 1億1,393万7,000円
- ▶問い合わせ 商工労政グループ (☎092171)

平成24年の大規模停電の経験を踏まえ、避難所となる総合福祉センター・しんた21に蓄電付き太陽光発電システムや太陽熱利用給湯システム、地中熱や施設排熱を活用した融雪システムの導入を進めています。

今回の整備により、太陽光パネルで集めた電力を災害時の照明電源などに活用したり、太陽熱を利用して避難者が利用できる温水を確保したりできるようになります。

また、市内企業の技術を活用した融雪システムにより、冬季の玄関前の安全を確保できます。



▲平成23年度に『LPガス災害用バルク』などが導入された総合福祉センター・しんた21に、今回、太陽光パネルの設置などを行い、防災機能をさらに高めた

## ⑧防災対策強化事業

- ▶平成27年度事業費 435万3,000円
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎091130)

津波への注意喚起を図るため、海岸沿いに津波注意看板を5カ所設置しました。これにより、現在の設置数は計22カ所となりました。

また、平成24年の大規模停電を踏まえ、避難所に、非常用食料品や発電機などの備蓄品の整備を進めています。

▶海岸沿いの市内22カ所に設置している津波注意看板（写真は富浦町）



▲今回、太陽光発電システムなどを導入する施設『総合福祉センター・しんた21』。同施設では、各種福祉・介護サービスを展開している